

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社NFKホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6494 URL <http://www.nfk-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 悦章
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部マネージャー (氏名) 金木 洋子 TEL 03(6419)7197
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	2,233	73.8	103	—	92	—	75	—
2025年3月期第3四半期	1,284	△22.5	△15	—	6	△90.2	△29	—

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 177百万円（－％） 2025年3月期第3四半期 △92百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	1.64	1.62
2025年3月期第3四半期	△0.67	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	8,021	6,576	72.9
2025年3月期	5,742	5,157	89.8

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 5,847百万円 2025年3月期 5,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,350	60.9	155	13.0	155	0.7	120	13.6	2.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社キャストリコ、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	48,744,624株	2025年3月期	44,051,274株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	457株	2025年3月期	457株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	46,337,758株	2025年3月期3Q	44,050,834株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）における我が国の経済は、企業の設備投資意欲や個人消費に一定の持ち直しが見られたほか、インバウンド需要の拡大など緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、原材料価格の高止まりや円安基調の継続、米国の関税引き上げの影響など、先行きについては依然として慎重な見方が広がっている状況が続いております。

当社グループにおきましても、引き合い等については確実に上向いてきているものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を見据え、受注・採算管理の徹底、原価低減および収益体質の強化に取り組んでまいりました。あわせて、当社ではこれまで持分法適用関連会社であった株式会社キャストリコの持ち分比率を52.06%まで引き上げ株式会社キャストリコを連結子会社として取り込み、同社の業績を連結業績に反映しております（当社持分52.06%、非支配株主持分47.94%）。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては22億3千3百万円（前年同四半期比73.8%増）となりました。また、利益面につきましては、営業利益1億3百万円（前年同四半期は営業損失1千5百万円）となりました。経常利益につきましては9千2百万円（前年同四半期は経常利益6百万円）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益7千5百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2千9百万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

①工業炉燃焼装置関連

工業炉燃焼装置関連事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は12億6千5百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。また、利益面におきましては、営業損失2千万円（前年同四半期は営業損失1億1千7百万円）となりました。

②エレクトロニクス関連

株式会社キャストリコの連結子会社化に伴い、新規にエレクトロニクス関連がセグメントに追加されております。当第3四半期連結累計期間の売上高は9億6千6百万円、営業利益は3千8百万円となりました。

③その他

その他の事業につきましては、子会社からの不動産賃貸収入、経営指導料等が収益の中心となっております。当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は2億1千2百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は1億8千2百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて39.7%増加し、80億2千1百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて55.9%増加し、58億8千1百万円となりました。主な増減の内訳としては現金及び預金が9億8千7百万円の増加となったこと、受取手形、売掛金及び契約資産が4億7千万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.6%増加し、21億4千万円となりました。主な増減の内訳としては建物及び構築物の増加が1億2千6百万円となったこと、キャストリコ連結化に伴うのれんの計上4億5千5百万円及び投資有価証券の減少が5億8千5百万円となったことなどによります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて146.8%増加し、14億4千4百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて71.1%増加し、6億9千8百万円となりました。主な増減の内訳としては支払手形及び買掛金が7千3百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が9千万円増加したこと、未払法人税等が2千万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて321.2%増加し、7億4千5百万円となりました。主な内訳としては長期借入金4億9千7百万円増加したこと、開発費負担引当金が6千5百万円増加したことなどによります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて27.5%増加し、65億7千6百万円となりました。これは資本剰余金が5億3千5百万円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益7千5百万円を計上したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正に関する詳細につきましては、2026年2月13日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,583,740	3,571,158
受取手形、売掛金及び契約資産	626,086	1,096,271
商品及び製品	—	83,323
仕掛品	60,099	348,032
原材料	156,673	518,356
その他	345,510	264,310
流動資産合計	3,772,110	5,881,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	136,712	262,795
機械装置及び運搬具（純額）	1,100	11,521
土地	292,877	292,877
その他（純額）	12,192	28,528
有形固定資産合計	442,882	595,722
無形固定資産		
商標権	—	419
ソフトウェア	1,025	1,880
のれん	—	455,151
電話加入権	—	318
無形固定資産合計	1,025	457,770
投資その他の資産		
投資有価証券	1,490,738	904,850
破産更生債権等	58,337	57,887
その他	35,768	181,761
貸倒引当金	△58,337	△57,887
投資その他の資産合計	1,526,507	1,086,612
固定資産合計	1,970,415	2,140,106
資産合計	5,742,525	8,021,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	279,552	353,039
短期借入金	12,000	—
1年内返済予定の長期借入金	5,724	95,964
未払法人税等	41,430	21,281
賞与引当金	23,153	40,296
完成工事補償引当金	7,144	4,510
その他	39,441	183,801
流動負債合計	408,445	698,893
固定負債		
長期借入金	25,213	522,250
再評価に係る繰延税金負債	20,890	20,890
退職給付に係る負債	115,923	112,399
開発費負担引当金	—	65,800
その他	15,043	24,558
固定負債合計	177,070	745,898
負債合計	585,516	1,444,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,341,508	3,876,550
利益剰余金	1,747,944	1,823,743
自己株式	△214	△214
株主資本合計	5,189,238	5,800,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△73,119	9,379
土地再評価差額金	38,071	38,071
その他の包括利益累計額合計	△35,047	47,451
新株予約権	2,818	19,216
非支配株主持分	—	710,021
純資産合計	5,157,008	6,576,768
負債純資産合計	5,742,525	8,021,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,284,805	2,233,598
売上原価	959,466	1,585,947
売上総利益	325,339	647,651
販売費及び一般管理費	341,106	543,704
営業利益又は営業損失(△)	△15,767	103,946
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,134	45,743
持分法による投資利益	15,087	—
為替差益	—	4,508
貸倒引当金戻入額	400	450
その他	2,701	2,742
営業外収益合計	23,323	53,444
営業外費用		
支払利息	506	1,646
持分法による投資損失	—	34,580
株式交付費	—	28,068
為替差損	324	—
その他	—	1,016
営業外費用合計	830	65,312
経常利益	6,724	92,078
特別利益		
段階取得に係る差益	—	42,486
特別利益合計	—	42,486
特別損失		
固定資産除却損	—	18
特別損失合計	—	18
税金等調整前四半期純利益	6,724	134,546
法人税、住民税及び事業税	36,204	45,554
法人税等調整額	—	△6,222
法人税等合計	36,204	39,332
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,480	95,214
非支配株主に帰属する当期純利益	—	19,415
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,480	75,798

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△29,480	95,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,540	69,215
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,346	13,283
その他の包括利益合計	△62,886	82,499
四半期包括利益	△92,366	177,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△92,366	158,298
非支配株主に係る四半期包括利益	—	19,415

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に係る注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月6日開催の定時取締役会において、簡易株式交付による株式会社キャストリコに対する公開買付を行うことを決議し、2025年8月20日付で当社を株式交付親会社とし、株式会社キャストリコを株式交付子会社とする株式交付による企業結合を実施し、子会社化しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が5億3千5百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が38億7千6百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

株式会社キャストリコは、段階取得により2025年9月30日をみなし取得日として連結子会社となっており、当第2四半期連結会計期間末より連結の範囲に含めております。よって当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表を連結し、当第3四半期連結会計期間から損益計算書について連結しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	17,797千円	22,723千円
のれんの償却額	－千円	16,857千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装 置 関連	エレクトロニ クス関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,284,805	—	—	1,284,805	—	1,284,805
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	211,500	211,500	△211,500	—
計	1,284,805	—	211,500	1,496,305	△211,500	1,284,805
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	△117,449	—	197,828	80,378	△96,146	△15,767

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△96,146千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装 置 関連	エレクトロニ クス関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,265,860	966,588	1,150	2,233,598	—	2,233,598
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	211,500	211,500	△211,500	—
計	1,265,860	966,588	212,650	2,445,098	△211,500	2,233,598
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	△20,707	38,385	182,486	200,165	△96,218	103,946

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△96,218千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より株式を取得し子会社化した株式会社キャストリコを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「エレクトロニクス関連」を追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「エレクトロニクス関連」セグメントにおいて、株式会社キャストリコの株式の取得に伴い、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めており、のれんが増加しております。

詳細は、注記事項（企業結合等関係）に記載のとおりであります。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2025年8月20日に簡易株式交付による株式会社キャストリコに対する公開買付を行い、当社を株式交付親会社とし、株式会社キャストリコを株式交付子会社とする株式交付による企業結合を実施し、株式会社キャストリコを子会社化しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社キャストリコ
事業の内容	販売、基盤設計及び開発

(2) 企業結合を行った主な理由

事業領域の拡大及びこれまで持分法適用関連会社であった株式会社キャストリコの連結子会社化による関係強化

(3) 企業結合日

みなし取得日 2025年9月30日

(4) 企業結合の法的形式

株式交付による公開買付

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合日直前に所有していた議決権比率	29.26%
取得後の議決権比率	52.06%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が交付した株式を対価として株式会社キャストリコの株式を取得したためです。

2. 第3四半期連結会計期間に係る第3四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年10月1日から2025年12月31日まで

3. 株式の種類別の交付比率及びその算定方法並びに交付した株式数

(1) 株式の種類別の交付比率

株式会社キャストリコの普通株式1株に対して、当社の普通株式9.34株を割当て交付しました。

(2) 交付した株式数

4,693,500株

(3) 株式交付比率の算定方法

当社は、本株式交付に用いられる株式交付比率の検討に際して、その公正性・妥当性を確保するため、当社及び株式会社キャストリコから独立した第三者機関である東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社を選定し、2025年6月5日付で株式交付比率算定報告書を取得しました。当社は、当該算定結果を参考に、株式会社キャストリコの資産・負債の状況、同社の現状・将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、慎重に検討を重ねた結果、上記(1)記載の交付比率は東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社が算定した株式交付比率レンジ内であり、当社の株主の利益を損ねるものではなく、妥当であるとの判断に至りました。

4. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、処理しています。

5. 被取得企業の取得原価

企業結合日に交付した当社普通株式の時価	535,041千円
取得原価	535,041千円

6. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	28,068千円
-----------	----------

7. のれんの金額、発生原因

(1) のれん金額

472,008千円

(2) 発生原因

企業結合時における時価純資産が取得原価を上回ったため、その差額をのれんとして認識しています。

(3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

8. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,178,166	千円
固定資産	289,628	〃
資産合計	2,467,795	〃
流動負債	647,147	〃
固定負債	380,083	〃
負債合計	1,027,230	〃

(重要な後発事象)

該当ありません。